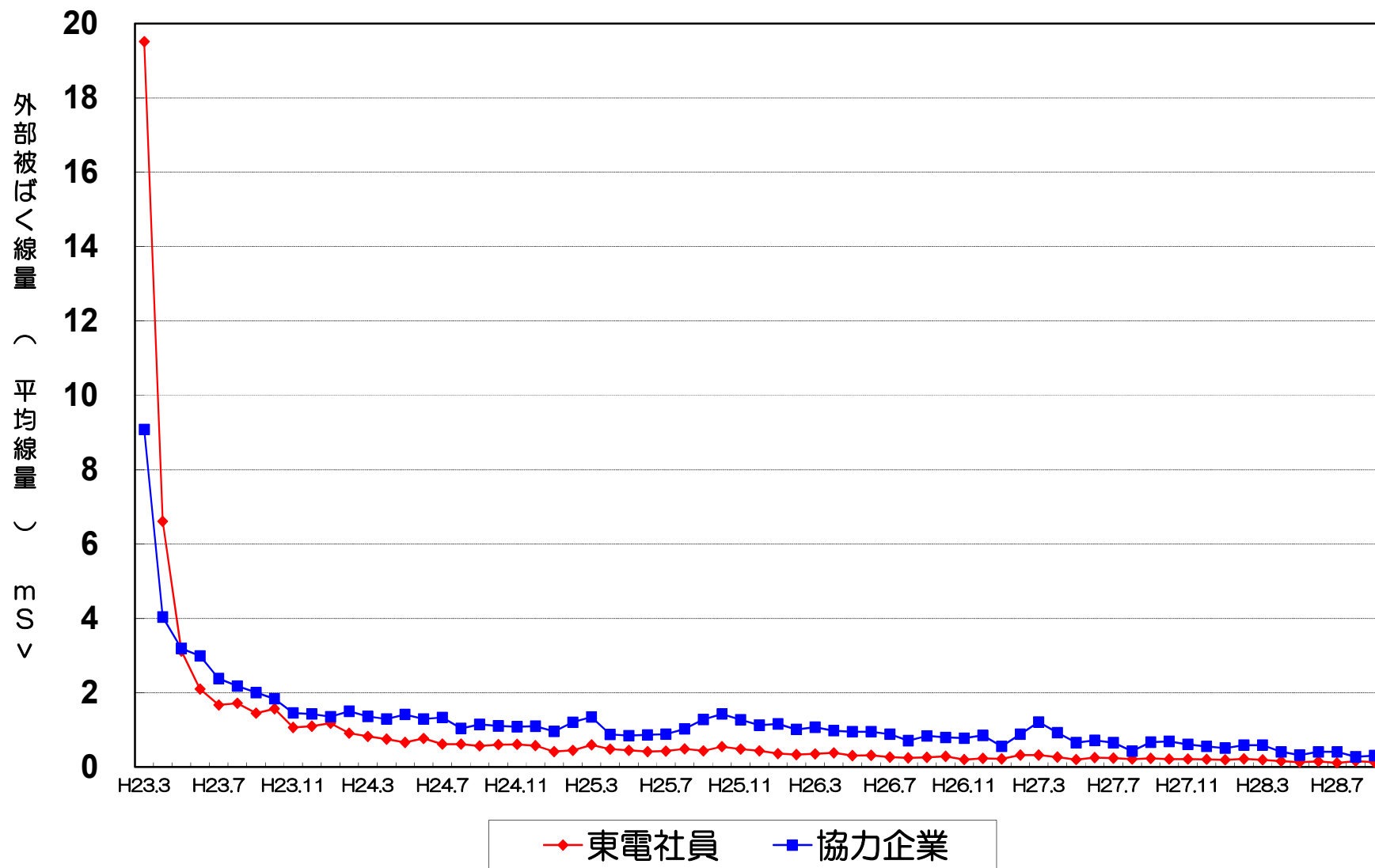


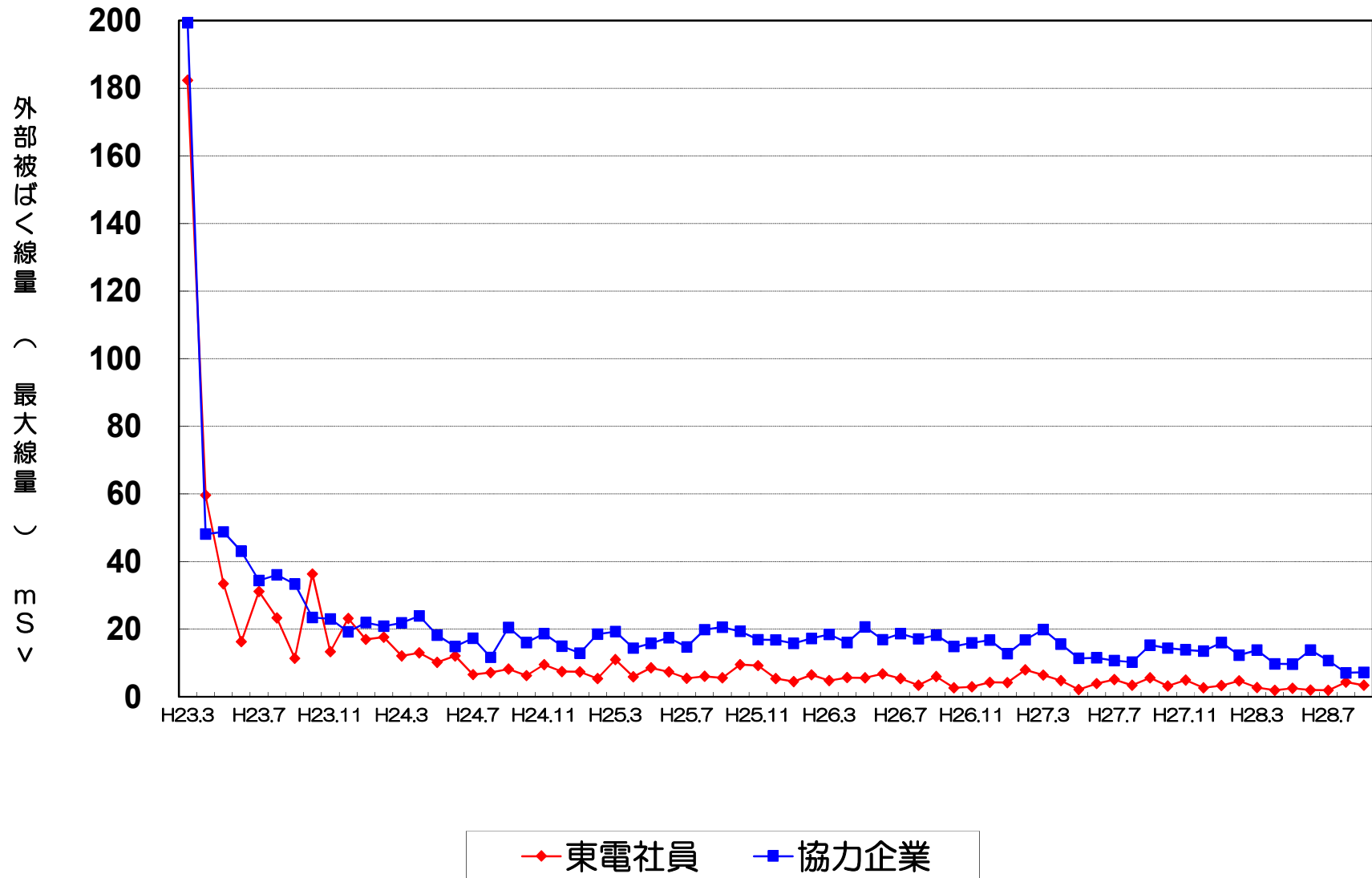
福島第一原子力発電所従事者の被ばく線量の全体概況について

2016年 12月 7日
東京電力ホールディングス株式会社

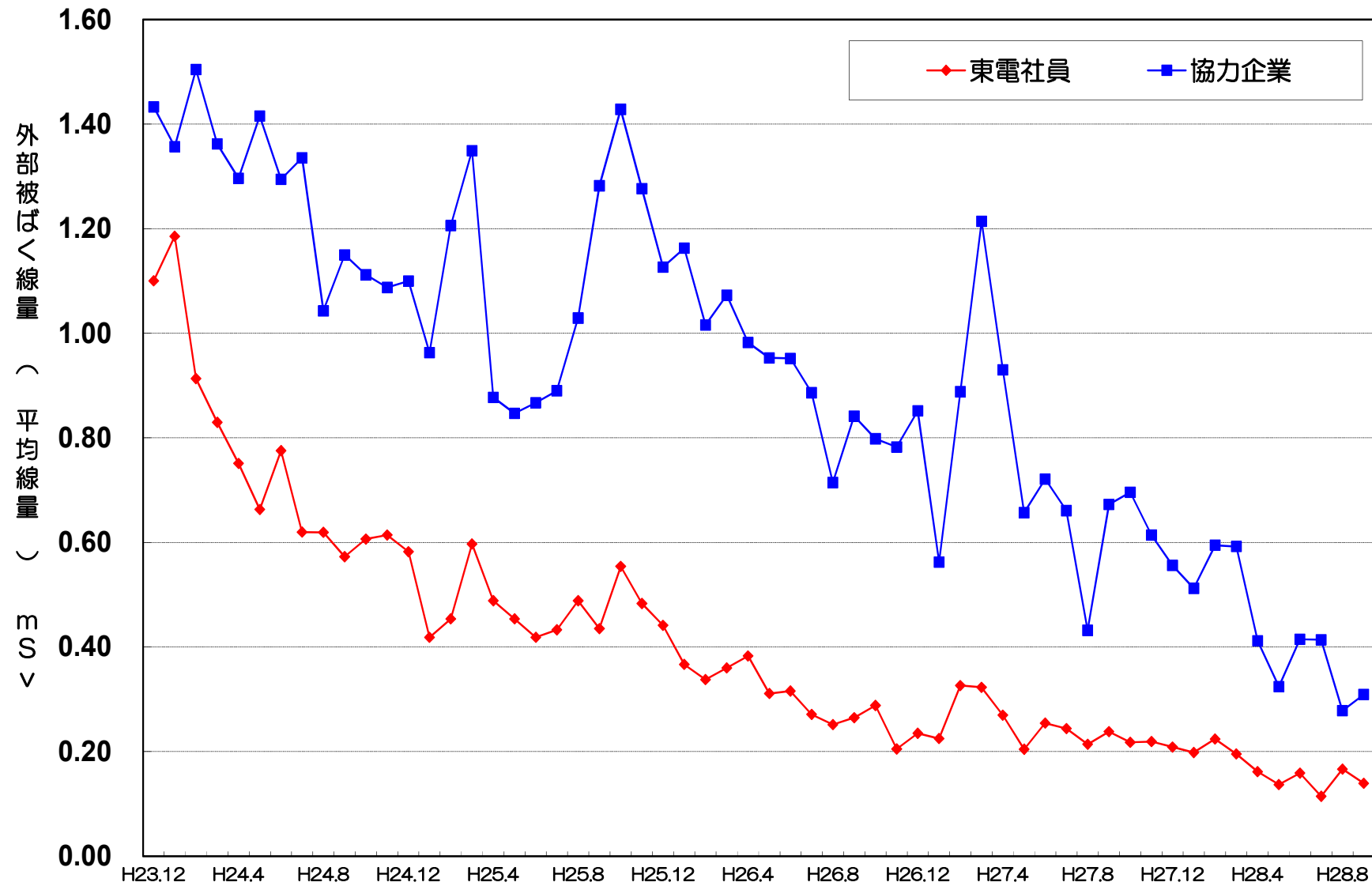
1. 発災以降の月別被ばく線量の低減状況(月平均線量)



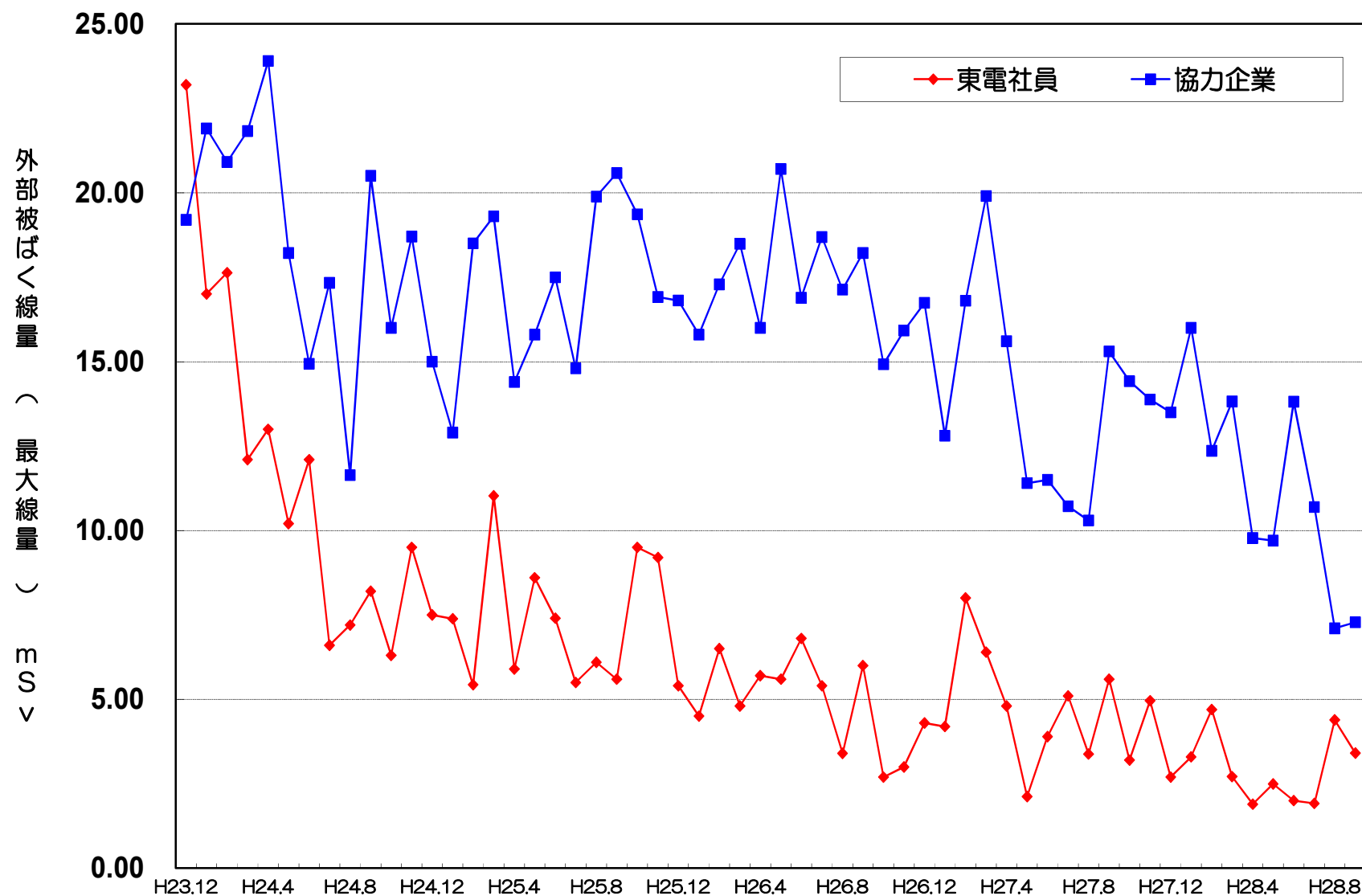
2. 発災以降の月別被ばく線量の低減状況(月最大線量)



3. ステップⅡ以降の線量推移(月平均線量)



4. ステップⅡ以降の線量推移(月最大線量)



5. 現在の状況 (放射線業務従事者の累積被ばく線量 H27年度分)

区分(mSv)	H27.4～H28.3月		
	東電社員	協力企業	計
100超え	0	0	0
75超え～100以下	0	0	0
50超え～75以下	0	0	0
20超え～50以下	6	592	598
10超え～20以下	52	1,947	1,999
5超え～10以下	108	2,247	2,355
1超え～5以下	533	5,114	5,647
1以下	998	6,599	7,597
計	1,697	16,499	18,196
最大(mSv)	24.00	43.20	43.20
平均(mSv)	1.85	4.52	4.27

○H27年度（4月～3月）に作業実績のある
18,196名のうち

- 18,196名（100%）は50mSv以下
- 17,598名（96.7%）は20mSv以下
- 13,244名（72.8%）は5mSv以下



○全ての作業者について被ばく線量は線量限度内(50mSv/年)で管理。

※一部の東電社員に適用していた特定高線量作業従事者については、H27.9月をもって届出を取りやめている。

6. 現在の状況 (放射線業務従事者の累積被ばく線量 H28年度分)

区分(mSv)	H28.4～H28.9月		
	東電社員	協力企業	計
100超え	0	0	0
75超え～100以下	0	0	0
50超え～75以下	0	0	0
20超え～50以下	0	30	30
10超え～20以下	0	282	282
5超え～10以下	16	665	681
1超え～5以下	256	3,340	3,596
1以下	1,269	7,496	8,765
計	1,541	11,813	13,354
最大(mSv)	9.51	36.15	36.15
平均(mSv)	0.65	1.58	1.47

○H28年度（4月～9月）に作業実績のある
13,354名のうち

- 13,354名（100%）は50mSv以下
- 13,324名（99.8%）は20mSv以下
- 12,361名（92.6%）は5mSv以下



○全ての作業者について被ばく線量は線量限度内(50mSv/年)で管理。

7. まとめ

- 構内の環境改善（作業工法含む）により、線量当量率が低下していることから、それに付随して、従事者の線量状況も改善してきている。
- 一昨年度末から昨年度初めにかけて、凍土遮水壁工事やフェーシング工事等の大きな被ばくを伴う作業により、月平均線量および月最大線量とも高めで推移していたが、昨年度後半はフェーシングによる環境の線量率低下なども寄与して、月平均線量および月最大線量とも少なく推移している。

引き続き作業環境の線量低減に取り組むと共に、作業者の方に継続的に従事していただけるよう、被ばく状況について今後も継続して注視していきたい。